2026年11月６日

各　位

会社名　　株式会社アクセルスペースホールディングス
代表者名　　代表取締役　　中村　友哉
（コード番号：402A　東証グロース市場）
問合せ先　　取締役　　折原　大吾
（TEL.03-6262-6105）

宇宙戦略基金 第三期「宇宙実証機会の拡大に資する衛星を活用した軌道上実証の低コスト・高頻度化技術の開発実証」採択のお知らせ

当社は、連結子会社の株式会社アクセルスペースが国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）が公募する宇宙戦略基金事業第三期の技術開発テーマ「宇宙実証機会の拡大に資する衛星を活用した軌道上実証の低コスト・高頻度化技術の開発実証」において提案した技術開発課題が採択されましたことをお知らせいたします。

記

１．宇宙戦略基金事業の概要

宇宙戦略基金事業は、産学官の結節点として、JAXAに設置した基金を活用し、民間企業・大学等が複数年度にわたって大胆に研究開発に取り組めるよう支援を行うものです。「宇宙技術戦略」等を踏まえ、内閣府主導の下、４府省（内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省）が連携し、本事業の制度設計を定める基本方針や個別の技術開発テーマを定める実施方針を策定し、民間企業、スタートアップ、大学法人等に対する先端技術開発、技術実証、商業化等の支援を行います。

本基金の第３期2,000億円分の技術開発テーマの内、「宇宙実証機会の拡大に資する衛星を活用した軌道上実証の低コスト・高頻度化技術の開発実証」に対し、株式会社アクセルスペースを代表機関とし、連携機関１機関とともに技術開発課題「顧客コンポーネントの商業化を牽引する革新的軌道上実証基盤の構築」を提案し応募しておりましたが、この度、本課題が採択されました。株式会社アクセルスペースは、本課題において、軌道上実証サービスの利便性をさらに高めるため、新たな汎用衛星バスの開発に加えて、軌道上実証サービスの費用負担の軽減、打上げまでの期間短縮、打上げロケットの多様化への対応、実証機会の拡大等に取り組みます。

２．本事業の概要（予定）
・配分機関：宇宙航空研究開発機構（JAXA）
・技術開発テーマ：宇宙実証機会の拡大に資する衛星を活用した軌道上実証の低コスト・高頻度化技術の開発実証
・技術開発課題名：顧客コンポーネントの商業化を牽引する革新的軌道上実証基盤の構築
・代表機関：株式会社アクセルスペース（研究代表者：宇宙機技術本部 本部長
倉田 稔）
・連携機関：学校法人学習院 学習院大学
・支援上限額（予定）[*1]：約39.9億円（間接経費含む）
・実施期間（予定）[*2]：５年程度（最長）

注記

1. 支援上限額は、実施期間全体を通した支援上限額であり、今後のステージゲート評価等により変動する可能性があります。
2. 支援開始後２年目を目途にステージゲート評価が実施されます。その結果によっては、それ以降の所要の実施期間分（最長３年程度迄）の支援を受けることが可能となります（打上げ・軌道上実証に係る期間を含む）。

本件は、2026年10月30日に採択結果が発表され、JAXAより開示許諾を得られたため、本日開示いたしました。

３.今後の見通し
現時点において株式会社アクセルスペースの受領金額は未確定ですが、少なくとも2026年５月期の連結売上高の10%以上に相当する金額を実施期間にかけて総額で受領する見込みです。本件は、2028年５月期以降、５年程度をかけて当社連結業績へ寄与することを想定しております。
株式会社アクセルスペースは今後数カ月を目途に、連携機関との間で委託契約を締結予定です。

４．その他
案件の詳細につきましては、本日発表のプレスリリース及び宇宙戦略基金のウェブサイトをご参照ください。

宇宙戦略基金「宇宙実証機会の拡大に資する衛星を活用した軌道上実証の低コスト・高頻度化技術の開発実証」に採択
～実証機会の拡大を目指し、宇宙コンポーネントの実用化・商業化を支援～
(2026年11月６日付公表)
https://www.axelspace.com/ja/news/spacestrategyfund_onorbitdemonstration/

JAXAウェブサイト
「宇宙戦略基金　衛星等（第三期）宇宙実証機会の拡大に資する衛星を活用した軌道上実証の低コスト・高頻度化技術の開発実証
https://fund.jaxa.jp/techlist/theme3_19/

以 上